

芽キャベツ

栽培のポイント

① 湿害と強い風に注意

芽キャベツは湿害に弱いので、日当たりと水はけのよい場所で育てるようにしましょう。また、大きく育つと倒れやすいので、風当たりの強いところでは支柱を立てて倒伏を防ぎます。

② 元肥と追肥で大きく育てる

莖に40枚以上の葉をつけ、莖の太さを4~5cm以上に育てるとたくさん収穫できます。株を大きくするためには、元肥をしっかり与えることがポイントです。生育期間が長いので、肥切れさせないように追肥をしましょう。

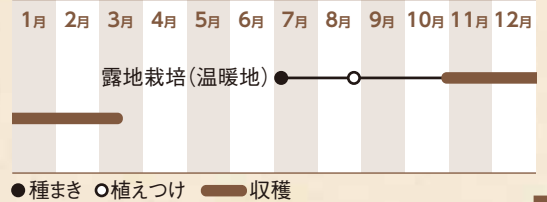
③ 葉かき(摘葉)をしましょう

健全に育てるためには、葉かき(摘葉)が重要です。結球が進んだ段階で下方の勢いの弱い葉から順に摘み取れば、日当たりと風通しがよくなり肥大する空間が確保できます。上の葉10枚くらいは常に残しておきましょう。



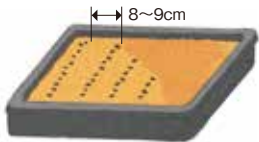
品種
・ファミリーセブン
・早生子持

栽培カレンダー



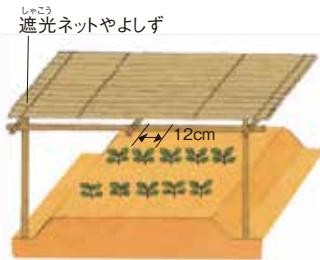
1 苗づくり

育苗箱に種をまき、苗床に移植する



育苗箱に種を条まきにする

発芽ぞろいしたら葉が重なり合わないよう1~2回間引き、本葉2枚のころ苗床に移植する



晴天の日の強すぎる日ざしは遮光してやわらげる

少ない本数ならポリ鉢に直接種をまく

直径9cmのポリ鉢に5~6粒まく



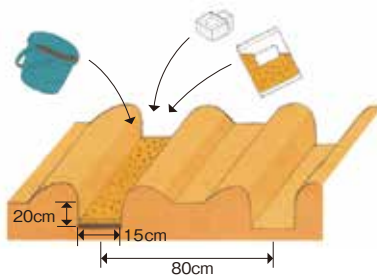
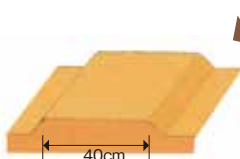
育つにつれて間引き、本葉2枚のころ1本立てに



本葉5~6枚の苗に育てあげる

2 元肥入れ・畝づくり

〈溝の長さ1m当たり〉
堆肥:5~6握り
化成肥料:大さじ2杯
油粕:大さじ4杯



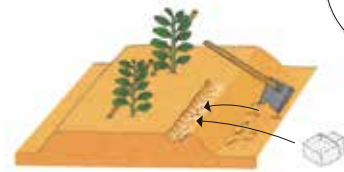
3 植え付け

倒れないように株元を軽く押さえておく。すべて植え終わったら株のまわりにたっぷり水をやる

4 追肥・支柱立て

●第1回追肥

下方のわき芽が結球し始めたころ、畝の片側に軽く溝をつくって肥料を施し、土を返すようにして畝を形づくる



わき芽

〈畝の長さ1m当たり〉
化成肥料:大さじ3杯

●第2回追肥

20~25日後、第1回の反対側に同様に施す。その後、生育に応じて2回くらい追肥し、肥切れさせないように育てる

5 敷きわら

高温乾燥期に入ったら畝全面に敷きわらをする

6 摘葉・わき芽処理

結球が進むにつれて、下のほうの勢いの弱った葉から順次摘み取る

上のほうの葉10枚くらいは最後まで残し、下のほうの老化した葉は4~5枚かき取る



育ちの悪いわき芽は早めにかき取る

7 収穫



球径が2~3cmに達したものを、下部から順次もぎ取り収穫する。不良球があれば早めに取り除く